

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY PURE ふじみ野校				公表日	2025年2月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	◇療育室と個別室を別々に設けています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	◇職員体制が整うよう改善に向け、事業所全体で努力しています。	◇現場の事情で予定より職員が減っても、十分な配置である状況が望ましいと思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	◇障害物になるようなものを出来る限り少なくして広いスペースを確保しています。	◇適切な心理支援を導入するにあたり、環境面の整理整頓も含めて、工夫が必要な状況だと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	◇換気を心がけ、使用した玩具の消毒や室内清掃および整理整頓を毎日行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	◇気持ちが落ち着かなかったり、静かな環境が必要な時は適宜使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	◇職員全員に浸透するよう、努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	◇保護者様の意向を把握し、事業所で改善に向けて努力するよう動いています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	◇基本的に管理者が全体を俯瞰的に観察する中で、問題を先延ばしにせずに改善するための場作りをしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	◇会社や事業所そのものが業務改善に向けて動いています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	◇会社全体や事業所ごとに研修や会議の時間を設け職員の知識や意識の向上を高めています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	◇様々な体験が出来るよう、毎月のプログラムを考えています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	◇定期的にモニタリング・個別支援計画作成に開く面談を行っています。その上で保護者様に丁寧に寄り添い、分かりやすく伝えることが出来るよう心がけています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	◇職員が全員参加のミーティングを毎月行い、子どもたちに関する共有事項や支援の方向性を確認する機会を設けています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	◇職員が全員参加のミーティングを毎月行い、子どもたちに関する共有事項や支援の方向性を確認する機会を設けています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	◇支援記録や日誌に記入した内容を基に、毎朝のミーティング内において共有と確認をしています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	◇個別支援計画の更新面談の際などに、保護者へ分かりやすく説明をし、具体的な支援内容を決めています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	◇毎月の事業所ミーティング内で、活動内容について話し合いの機会を設けています。		

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	◇活動内容の備りがないように設定するために保護者や子供たちに意見を聞いたりする機会を設けています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	◇毎日の活動内容については、集団と個別の両方を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	◇毎朝のミーティングで共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	◇支援終了後もしくは、翌朝のミーティングで必ず支援の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	◇毎日の支援記録を必ず記録し、その内容を職員全員で共有し支援の方向性を統一するよう心がけています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	◇半年ごとに行い、事業所内で内容を共有しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	0	◇毎月の活動内容にバランスよく取り入れるよう心がけています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	◇個別課題等を積極的に取り入れ、子どもたち一人一人の状況を理解し取り組んでいます。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	◇こどもの状況をよく理解している職員を含め、管理者や児発管が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	◇相談支援事業所、他事業所、連携医療機関等、必要な関係機関と情報共有に努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	◇各学校や関係機関と週間予定や年間予定、それらに伴う連絡や共有を常に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	◇定期的なモニタリングや訪問等を含め、進学後も情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	◇担当者会議に出席し、支援内容などの情報共有をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	◇定期的に子どもたちの担当の相談支援事業所等とのミーティングの時間を設けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	◇現在、地域の大学の文化祭に参加したり、他校との交流会など様々な関係機関と連携が取れるようプログラムにも取り入れています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	◇管理者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	◇療育の様子を連絡帳を通して伝えたり、送迎の際に口頭で直接伝えることにより、共通の認識と理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	◇保護者会や保護者参加型のイベントを行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	◇管理者と児発管とともに職員全員で対応しています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	◇保護者と定期的にモニタリングや面談を行い、家族や本人の考えや意向を確認する機会を設けています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	◇個別支援計画書の原案を基に説明や修正を行い本案の同意を得ています。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	◇毎日の連絡帳の記載や電話連絡等を通して、相談やアドバイスに応じています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	◇保護者会を年2回開催したり、親子参加型のイベントを通して保護者同士や兄弟の交流の場を設けています。その際に面談等の希望や相談に個別で対応しています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	◇苦情については、第一報は電話連絡等を通して即日対応するようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	◇毎月の活動プログラムを通して発信しています。その他の連絡事項については、都度お知らせ等を通して連絡しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	◇全従業員向けの研修を会社で定期的に行い、必要な知識を学んでいます。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	◇定期的に個別対応をし、意思疎通を通して保護者との情報共有をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	◇今後の運営に向けて、プログラムに取り入れることを検討しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	◇定期的に全従業員が研修と訓練を受けています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	◇定期的に全従業員が研修と訓練を受けています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	◇契約時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	◇事業所としてアレルギーの有無に関しては、保護者様からの診断書をもとに個別対応をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	◇定期的に全従業員が研修と訓練を受けています。事業所ごとに異なる安全計画に関しても、事業所内ミーティングで定期的に話し合いを行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		◇今後、ご家族やご家庭向けにわかりやすく発信する方法を考えていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	◇事象の発生毎に報告書を作成し、再発防止に向けて事業所の全従業員で話し合いをしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	◇定期的に全従業員が研修と訓練を受け、ミーティングで話し合いの機会を設けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	◇必要な家庭に対しては個別で対応し、子どもまたは保護者へ十分な説明をしています。その後、家庭の理解のもと計画書へ記載し、やむを得ず身体拘束が発生した場合は保護者等に速やかに報告しています。		